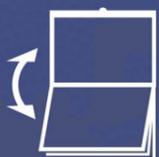
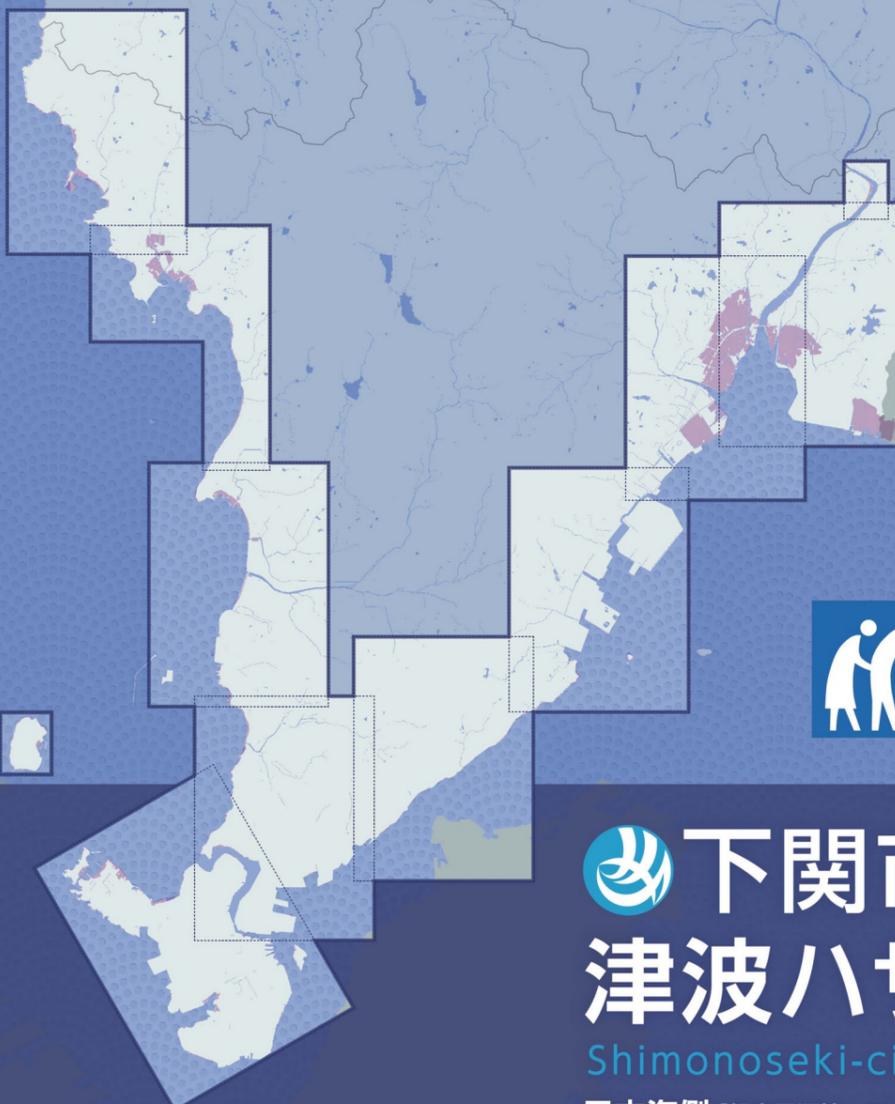


下関市各種ハザードマップ収納用ポケット
 下関市が発行するその他のハザードマップ(土砂災害・高潮・洪水など)を収納できます。
 (地区によっては警戒区域外のため配布していないハザードマップもあります。)



壁掛け式【保存版】
 壁に掛けてご利用いただけます。

下関市 津波ハザードマップ
 Shimonoseki-city Tsunami Hazard Map

本庁管内

日本海側 [想定震源地：F60断層・見島付近西部断層・見島北方沖西部断層]

下関市で想定される津波について [日本海側 (本庁管内)]

山口県内において、大きな被害をもたらす地震として、南海トラフを震源とする巨大地震とは別に日本海側に位置する断層群を震源とする地震があります。



●F60断層 (津波の大きさが最も大きい)

F60断層は、山口県の西部に位置する、西山断層及び北方延長部の断層を示しています。西山断層は福岡県宗像市沖ノ島付近から朝倉市にかけて分布する活断層のことで、F60断層は、この西山断層(長さ110km)より北西方向にやや長く、総延長136.9kmに及ぶ断層です。

●見島付近西部断層 (津波の到着が最も早い)

見島(萩市)の西部に位置し、下関市の角島からは44kmの距離に位置する、全長40kmの断層です。

●見島北方沖西部断層

見島(萩市)の北方沖に位置し、下関市の角島からは140kmの距離に位置する、全長38kmの断層です。

沿岸部において津波の影響が出るまでの想定時間

各港湾・漁港区域内の代表地点(背後に家屋等の多い地点)のデータ (第10回山口県地震・津波防災対策検討委員会)

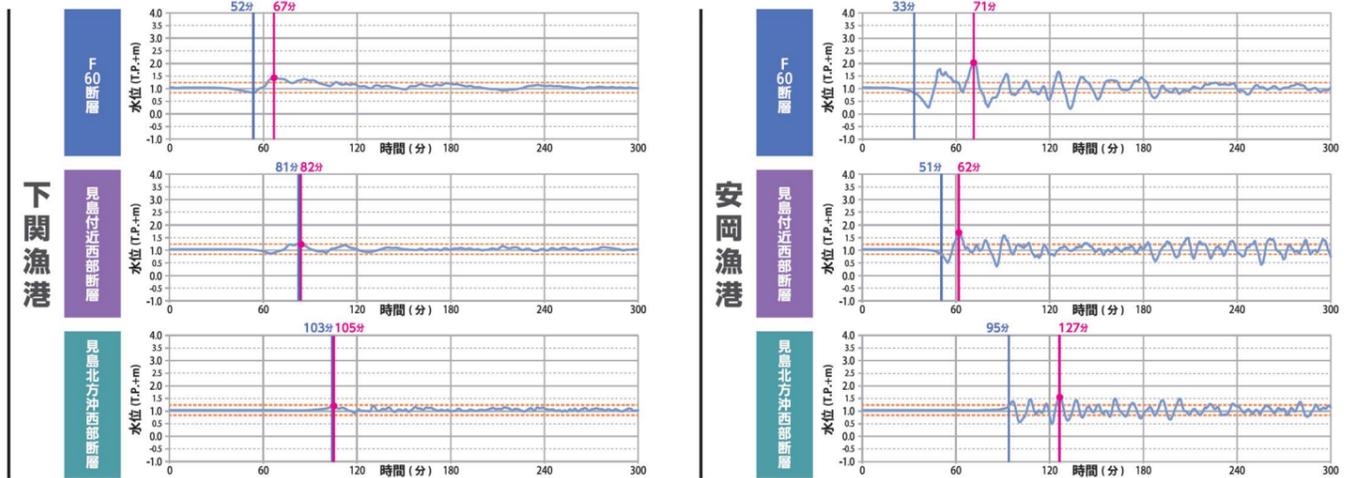


山口県のホームページでは、地震発生後の津波の動きや到達時間を分かりやすく示すため、南海トラフの巨大地震及び周防灘断層群主部の地震による津波の動画が公開されています。
<http://www.pref.yamaguchi.jp/cms/a10900/bousai/tsunami-douga.html>

震源想定	代表地点	影響開始時間 ※初期潮位から±20cmの水位変化			到達開始時間 ※第一波が最大波になるとは限りません。			津波の高さ
		F60断層	見島付近西部断層	見島北方沖西部断層	F60断層	見島付近西部断層	見島北方沖西部断層	
F60断層	下関漁港	52分後	81分後	103分後	67分後	82分後	105分後	1.5m _{うち津波の高さ} #1 0.4m #2
		見島付近西部断層	見島北方沖西部断層					
見島付近西部断層	安岡漁港	33分後	51分後	95分後	71分後	62分後	127分後	2.1m _{うち津波の高さ} #1 1.0m #2
見島北方沖西部断層								

※1 海抜ゼロメートルからの高さ ※2 朔望平均満潮位(T.P.) 下関漁港1.04m, 安岡漁港1.04m からの高さ

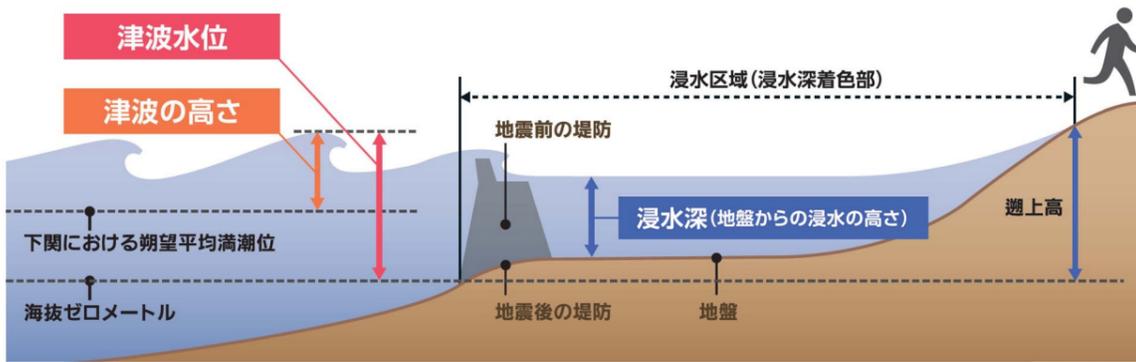
●水位変化グラフ



ハザードマップの浸水想定について

このハザードマップに記載された浸水想定区域や浸水の深さは、山口県津波浸水想定の内容を反映したものです。山口県では、発生すると甚大な被害を及ぼす「F60断層」、「見島付近西部断層」、「見島北方沖西部断層」による津波を想定し、次のような条件を設定したうえでこの想定を行っています。

- 条件1 朔望平均満潮位の時に巨大津波が発生
- 条件2 堤防や防波堤は破壊され機能しない



- 津波水位**
海岸線から沖合約30m地点における津波の水位のこと。海抜(T.P.)で表示しています。
- 津波の高さ**
津波により実際に上昇した海面の高さのこと。
- 浸水深**
浸水域の水面から地面までの高さ。ハザードマップには各地点で想定される最大の浸水深を表示しています。

- 海抜ゼロメートル**
東京湾の代表地点における平均潮位の海面の高さ。海抜の基準となる。
【海抜ゼロメートル=東京湾平均海面(T.P.)】
- 海抜**
T.P.(東京湾平均海面)からの高さのこと。
- 朔望平均満潮位**
朔(新月)および望(満月)の日から5日以内に現れる、各月の最高満潮面の平均値。
- 遡上高**
海岸から内陸へ津波が駆け上がった高さ。

津波の特徴

津波はいくつかの特徴を持った災害です。想像よりも凄まじい力を津波は持っています。津波の特徴を知り、いざというときのために準備をしましょう。

津波は繰り返し来ることで、より内陸へ



●第一波より第二波、第三波のほうが大きくなる可能性があり、より内陸まで津波が押し寄せて来ることがあります。

津波のはじまりかた



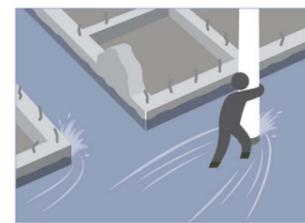
●津波は引き潮からはじまるとは限りません。

津波の威力



●1~2mある津波は家屋の全壊、流失する可能性があります。

引き波への注意



●引いていく波の破壊力もすさまじいです。陸で引き波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。

警戒は長時間に



●津波は繰り返し襲って来ます。地震後6時間(最大12時間)は注意が必要です。

漂流物を巻き込む力



●津波はガレキなどの漂流物を巻き込んで破壊力を増し、建物やときには防波堤さえも壊すことがあります。

わずかな深さでも注意



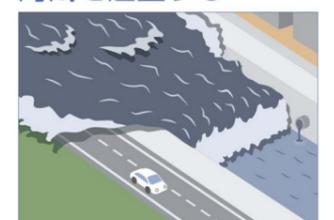
●20~30cm程度の津波でも立っていらなくなり、足をとられ波にさらわれます。

地形による変化



●岬の先端やV字型の湾内、入り組んだ海岸は津波のエネルギーが集中し、波が高くなる可能性があります。

河川を遡上する



●津波は川を遡上(遡上)し、堤防を超えて陸地に津波が溢れます。※綾羅木川、木屋川は、遡上を考慮しています。

津波から命を守るために

マップで自宅や家族に関する場所の浸水深を確認しましょう。
地震・津波から命を守るために、いざというときの行動や避難の方法を普段から想定し、適切に避難をしましょう。

**F60断層
巨大地震発生**

マグニチュード
Mw7.6

下関市では最大
震度5強

気象庁より
緊急地震速報発表

立ってられない揺れです。 まず身の安全を確保しましょう！

- 机やテーブルの下へ隠れる
- 倒れてくる家具や、など、頭を守り、じっと待つ。
- 落下物に注意する。
- ドアや窓を少し開けて、逃げ道を作っておく。



■車にいた場合

- 車は道路の左脇へ寄せ、鍵はつけたままで避難する。

- 船にいた場合**
- 船は港に戻らずに沖合いへ避難する。



地震発生から
2-3分



気象庁より津波警報発表

●地震発生から2～3分で津波情報が発表されます。注意報・警報が出たら冷静に行動し、避難してください。



大津波警報：3m<津波の高さ
津波警報：1m<津波の高さ≤3m
津波注意報：津波の高さ<1m

強い揺れが
あるとき

沿岸部に津波の影響が出る前に・・・ 安全な場所に避難しましょう！

※安岡漁港で33分後に影響が出る想定されています。

強い揺れがおさまったら・・・ 落ち着いて状況を把握しましょう！

- 長い1分以上の揺れがおさまったら、警報などの発表を待たずにすぐに避難する。
- 避難前は火元を消す。都市ガスは自動で元栓が閉まる場合があります。
- すぐ避難できるように靴を履いておく。
- 避難は、ガラスや瓦などの落下物に注意し、落ち着いて行動する。

●海へ行って見物してはけません。津波が見えてからは逃げられません。

津波の危険が
ある

津波の危険が
ない

住まいや職場、
学校などに
津波の危険は
ありますか？

激しい揺れが
おさまって
動けるよう
になってから

浸水区域には近づかないようにしましょう！

●避難所に行く必要がない



●家族や近隣住民の安否確認を行う。

- 余震や津波など災害情報に注意する。
- ガラスの破片や転倒した家具などの片付けを行う。



●周囲と協力して救出/消火活動を行う。

●避難所に行く必要がある

一 避難所に行く5つの理由一

1. 「ガスの途絶」「断水」「トイレの使用不可」など「ライフラインの使用不可」
2. 「行政支援、情報・物資、人のいるところを求めて」など「情報・物資の要求」
3. 「高齢者・ケアが必要な家族の存在」
4. 「建物の安全性への不安」
5. 「余震が怖い」

「阪神・淡路大震災からの生活復興2005—生活復興調査結果報告書—」
京都大学防災研究所巨大災害研究センター（2006）より



●ブレーカーを切り、ガスの元栓を締める。



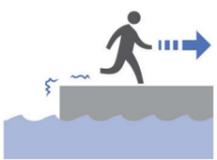
●非常持出品を準備する。



●災害時要配慮者の避難などに協力する。

すぐ逃げましょう！

揺れを感じなくても、注意報、警報が発表されたり、市からの避難指示・避難勧告が発令されたらすぐ避難！とにかく走って、戻らない！



●小さな揺れでも要注意。まずは避難が最優先



●より早く、遠くへ、高い所へ避難



●海岸や河川からはできるだけ遠ざかるように避難



●持出品は取り出しやすい場所に保管する。



●車で避難しない。渋滞を引き起こし、危険です。



●津波てんでんこ
「自分の命は自分の責任で守れ」

「てんでんこ」は「てんでんばらばらに」の意味で、「人にかまわず必死で逃げる」という三陸地方の教訓。緊急時に災害弱者（子ども・高齢者）を手助けする方法などは、地域であらかじめ話し合っておきましょう。

津波警報・注意報が解除されるまでは戻らないようにしましょう！

市が指定した浸水被害の無い避難所・避難場所、又は高台などに避難。



- 近くに高台が無い場合は高い頑丈な建物など可能な限り高い所へ避難。
- 避難所・避難場所では最新の情報を収集する。

地震・津波の危険がなくなった
(津波警報・注意報の解除)

家に被害があり
生活できない

指定緊急避難場所、
指定避難所
での避難生活
(浸水区域外)

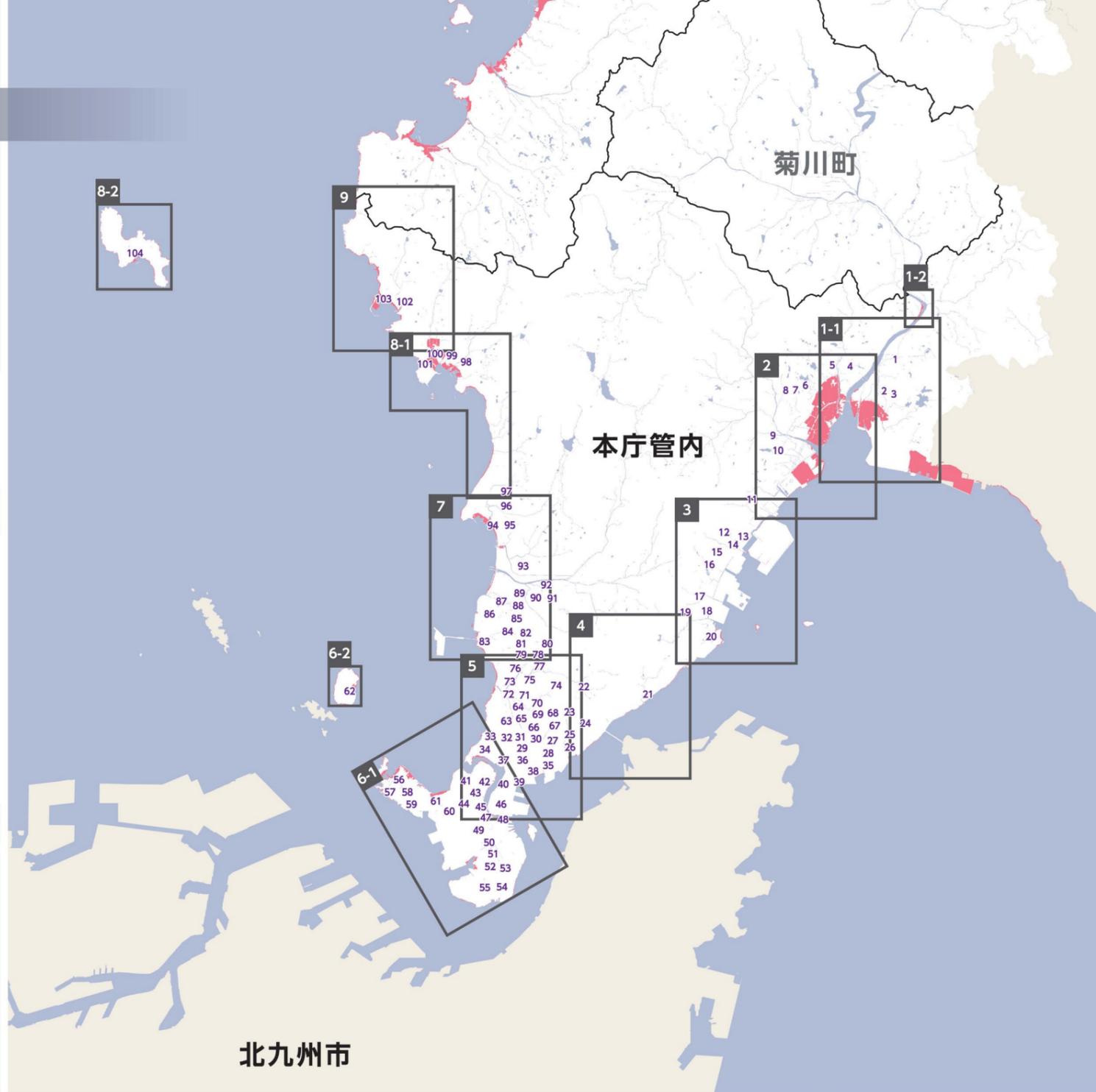
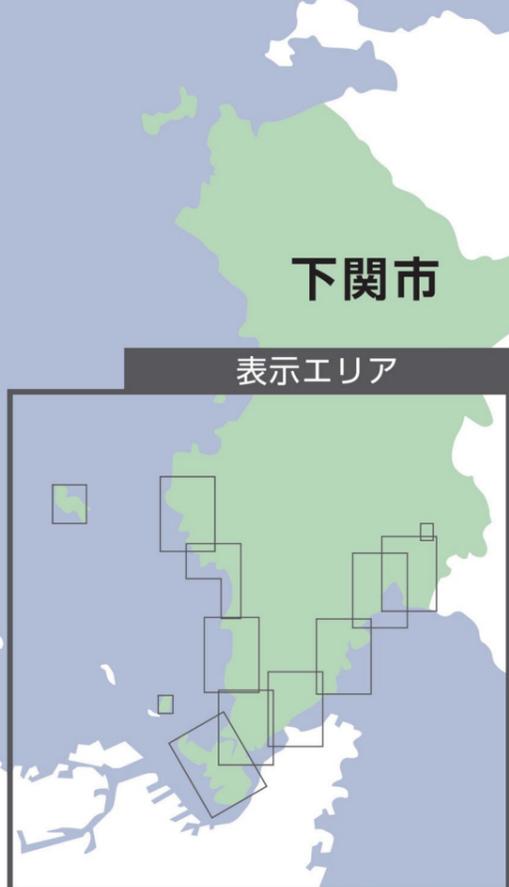
地震発生から 数日

家に被害がない

家にもどる

地区割

下関市の本庁管内の沿岸部を9つのエリアに分けています。



指定避難所リスト

このリストは浸水区域外に位置する地図上に掲載された避難所になります。その他の災害状況によっては使用できないおそれがあります。

■本庁管内															
No	指定避難所	所在地	海拔	No	指定避難所	所在地	海拔	No	指定避難所	所在地	海拔	No	指定避難所	所在地	海拔
1	木屋川中学校	木屋川南町2-660	4.0(南側)	28	名陵中学校	丸山町1-13-3	27.4	54	向井小学校	彦島向井町2-20-1	29.6(正門)	81	山の田小学校	山の田中央町13-1	18.0
2	王喜公民館	王喜本町2-15-10	6.4	29	関西小学校	関西町12-1	27.4	55	くりのみ子供園(※)	彦島田の首町2-6-10	7.7	82	山の田中学校	山の田本町8-1	25.8
3	王喜小学校	王喜本町2-12-30	6.5	30	下関市民センター	東神田町9-1	16.8	56	玄洋公民館	彦島西山町4-1-28	2.2	83	垢田小学校	新垢田西町1-1-1	19.5
4	小月小学校	小月西の台6-1	11.3(坂の下)	31	千草保育園(※)	東神田町5-9	26.9	57	フロイデ彦島	彦島西山町3-12-1	19.7	84	垢田公会堂	垢田町1-11-7	14.6
5	小月公民館	小月本町1-7-7	3.3	32	神田小学校	西神田町5-1	20.7	58	彦島第二保育園	彦島西山町1-10-7	8.0	85	川中会館	古屋町1-17-3	15.3
6	東部中学校	清末陣屋5-10	21.6	33	桜山小学校	上新地町2-5-10	10.4	59	西山町自治会館	彦島西山町1-9-29	8.9	86	垢田中学校	大字垢田字笹原1127-6	41.2
7	清末公民館	清末陣屋5-20	24.4	34	文洋中学校	上新地町5-6-1	26.5	60	彦島体育館	彦島迫町4-16-1	49.8	87	川中西小学校	古屋町2-9-1	6.5
8	清末小学校	清末西町1-6-1	21.0	35	王江小学校	入江町9-1	24.9(裏門)	61	西山小学校	彦島迫町5-13-21	5.9(正門)	88	山口南総合支援学校下関分校	古屋町1-2-31	※休校中
9	王司小学校	王司神田6-9-1	4.7	36	茶山集会所(憩の家隣)	長門町1-1	15.6	62	船員宿舎	大字六連島字空方137-2	23.2	89	川中公民館分館	綾羅木本町3-1-20	5.4
10	王司公民館	王司神田1-9-1	9.8	37	西部公民館	伊崎町1-4-30	1.8	63	大坪ふれあい会館	藤附町2-4	7.0	90	川中公民館	伊倉町2-1-1	5.4
11	西部高等産業技術学校	千鳥ヶ丘町21-3	19.9	38	生涯学習プラザ	細江町3-1-1	2.4	64	大坪保育園(※)	羽山町16-3	22.3	91	川中小学校	伊倉本町19-1	5.3
12	長府小学校	長府松小田北町14-1	27.0	39	下関市民会館	竹崎町4-5-1	2.6	65	向山小学校	向山町14-1	22.4	92	川中中学校	伊倉新町4-6-1	3.9
13	長府第3保育園(※)	長府松小田本町1-38	4.9	40	大和町漁港町内会事務所	大和町1-5-10	2.1	66	向洋中学校	向洋町1-14-1	20.7	93	市立考古博物館	大字綾羅木字岡454	13.2
14	長府東公民館	長府松小田本町4-15	5.6	41	下関中等教育学校	彦島老町2-21-1	70.2	67	文関小学校	上田中町1-14-1	16.1	94	安岡公民館	安岡駅前2-7-1	2.9
15	長成中学校	長府日の出町4-1	33.1	42	老町公会堂	彦島老町1-10-24	2.6	68	日新中学校	上田中町1-15-1	30.4	95	下関工業高等学校	富任町4-1-1	6.3
16	長府第2保育園	長府中六波町12-26	18.8	43	本村小学校	彦島本村町3-16-1	8.7	69	下関南高等学校	後田町1-8-1	23.8	96	安岡小学校	安岡町3-5-5	9.4
17	豊浦小学校	長府亀の甲2-2-1	5.6	44	玄洋中学校	彦島本村町2-8-1	45.3	70	西の尾団地集会所	後田町5-2-5	18.6	97	安岡中学校	安岡町4-2-1	6.8
18	長府公民館	長府土居の内町1-6	3.3	45	本村公会堂	彦島本村町5-4-7	3.7	71	下関西高等学校	後田町4-10-1	26.4	98	吉見公民館	大字吉見字下浦ノ後1533	5.1
19	長府中学校	長府達坂町3-1	18.2	46	公益社団法人下関市シルバー人材センター	東大和町2-4-3	2.7	72	下関商業高等学校	後田町4-11-1	23.4	99	吉見小学校	吉見里町1-8-1	6.0
20	豊浦高等学校	長府宮崎町1-1	5.1	47	彦島公民館	彦島江の浦町1-3-1	3.2	73	下関中央工業高等学校	後田町4-25-1	19.4	100	吉見中学校	永田本町1-3-10	2.0
21	すみれ保育園	前田1-9-1	7.6	48	江の浦町民館	彦島江の浦町6-4-5	2.3	74	下関南総合支援学校	幡生町1-1-22	48.2	101	独立行政法人水産大学校	永田本町2-7-1	13.7
22	棕野町民館	棕野町2-13-4	26.3	49	彦島中学校	彦島江の浦町2-25-1	19.8	75	生野小学校	幡生本町7-14	11.2	102	吉母公民館	大字吉母字砂留401-24	8.5
23	社会福祉センター	貴船町3-4-1	6.3	50	江浦小学校	彦島江の浦町3-4-1	3.9	76	伝武館	武久町4-57-10	4.2	103	吉母小学校	大字吉母字塩谷287	5.6
24	養治小学校	本町2-6-1	21.0	51	角倉町民館	彦島角倉町3-3-28	4.4	77	幡生保育園	幡生宮の下町25-13	7.5	104	蓋井小学校	大字蓋井島字田町126-2	7.7
25	勤労福祉会館	幸町8-16	4.7	52	角倉小学校	彦島角倉町3-5-5	8.9	78	北部公民館	山の田東町4-13	19.1				
26	本行寺	赤間町3-12	8.0	53	山中町民館	彦島山中町2-4-9	11.5	79	勤労婦人センター	山の田東町4-13	19.1				
27	名池小学校	名池町10-1	23.8					80	下関市立大学	大字町2-1-1	20.4				

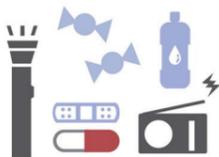
※この施設は指定緊急避難場所ではありません。

日ごろから津波に備えておきましょう

このハザードマップは、津波から身を守るための様々な情報を記載しています。このマップを活用して家庭で話し合うなど、日ごろから備えておくことで、いざというときに家族がより安全に避難することができます。



●津波の特性や津波によって受ける影響などを確認しておきましょう。



●非常持出品を準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。



●海水浴や川遊びに行くときはラジオを携帯し、いざという場合の安全な避難場所を確認しておきましょう。



●家族で集合場所を話し合い、実際に避難場所まで歩いてみるなど、いざという場合の行動を確認しておきましょう。



●地域の防災訓練に参加するなど地域の人と協力し、地域の特性に合わせた避難計画や防災マップを作成しておきましょう。



下関市内の学校や公共施設などに標高表示板を設置しています。

下関市で想定される地震による津波の違い

日本海側（例：F60断層等）や瀬戸内海側（南海トラフ地震等）、それぞれを震源とする津波には、どのような違いがあるのでしょうか？

	F60断層	南海トラフ地震
地震の大きさ マグニチュード	Mw7.6	Mw9.1
津波影響開始時間	30分後 角島港	1時間45分後 下関港（長府）
津波到達時間	41分後 角島港	4時間5分後 下関港（長府）
津波最大波の高さ	3.7m 小串漁港	3.8m 下関港（長府）
断層の活性間隔	千年～数千年	100～150年

●F60断層

■ 浸水区域

●南海トラフ地震

■ 浸水区域

本庁管内における浸水エリア

本庁管内における日本海側（F60断層等）や瀬戸内海側（南海トラフ地震）を震源とする津波によって浸水する範囲が大きい地域もあり、震源地がどこであれ、浸水する地域は警戒が必要です。

東日本大震災の大津波

平成23年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震とその後に来た巨大津波は、宮城県石巻市にも大きな被害をもたらした。石巻市で3,000人を超える死者・行方不明者が発生しました。

写真：石巻市雄勝地区を襲った津波の瞬間 写真提供：石巻市秘書広報課



2011/03/11, 15:23:24
防波堤を超える津波



2011/03/11, 15:23:30
堤防を超えた津波が雄勝地区街中に流れ込んでくる。



2011/03/11, 15:23:45
左の写真の15秒後。津波に押し流された建物が道路に。



2011/03/11, 15:23:53
さらに8秒後。越流量が増え続け、様々なものが流される。

自宅などから近い避難所や連絡先を記入しておきましょう

家族（親戚・知人など）の名前	電話番号（会社・学校・携帯）	備考	家族（親戚・知人など）の名前	電話番号（会社・学校・携帯）	備考

わが家の避難所

家族の集合場所

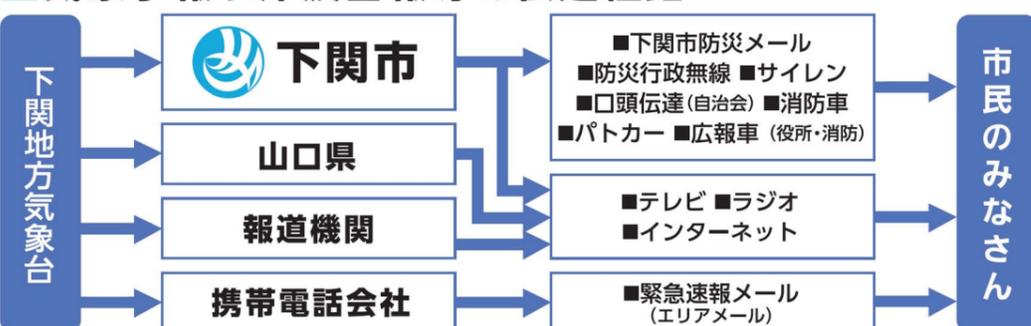
非常持出品の置き場所

災害用伝言ダイヤル171やWeb171で家族の安否を確認することができます。

災害用伝言板（Web171）とは、インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板のことで、パソコン、携帯電話、スマートフォンなどから利用することができます。

<https://www.web171.jp>

気象予報や津波警報等の伝達経路



さまざまな情報をもとに、市役所などの公共機関から避難などに関する情報が発信されます。最新の情報を入手し、安全に避難しましょう。

インターネット等による情報入手

下関市の避難所、津波に関する情報や気象、警報に関する情報は、インターネットやメール配信サービスからでも確認することができます。

下関市ホームページ	http://www.city.shimonoseki.lg.jp/
下関市防災メール	bousai-shimonoseki@xpressmail.jp（空メール送信）
山口県土木防災情報システム	http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp/
山口県防災情報メール	regist@suibou.pref.yamaguchi.lg.jp（空メール送信）



下関市防災メール登録用QRコード

QRコードを携帯電話で読み取り、登録サイトへアクセス。読み取れない場合は、次のアドレスに空メールを送信してください。
bousai-shimonoseki@xpressmail.jp